

春が来た、さあ新しい子どもたちが来る

園長 小島 澄人

さあ新しい子どもたちがやってきます。進級した子どもたちはもうワクワク。先生たちは先月から一つひとつ準備をし、自分のクラスを楽しみにしています。そして、もう春です。子どものことを一人ひとり把握し、全体の準備、打ち合わせ、環境整備、次から次に、待っている子どもたちを迎える、もうワクワクです。

幼稚園も周りももう春です。畑も山も新芽が、子どもたちが埋めたジャガイモの種芋も芽を出しています。新入園児の為に埋めていたチューリップも今年は咲かずに子どもたちを待っています。もう満開のさくらんぼの樹、ナポレオンがたくさん実をつけて、ぐみの木ももう実をつけ始めました。裏の野原にはフキが、竹林にはもっこりとタケノコがによきによき出ています。菜の花も黄色く咲き、紫大根の花も裏の野原を紫に染めています。イチゴが花を咲かせ実が付き出しました。子どもも、先生も、自然界も、「ようこそ、ようちえんへ」と、楽しみでワクワクです。

最初から担任を知るわけでもなく、出会ってたくさんの触れ合いで、少しずつ分かりあっていく、また、たくさんの知らない同年代の子どもたちとの出会い、いろんなことを学んでいきます。大好きなお母さん、大好きなお父さんだった我が子が、そのうち、先生大好き、お友達大好きになっていきます。

おかあさん、おとうさん、けど「だいすき」は、やはりお家の方が一番です。幼稚園にやってくる日が待ち遠しい。みんな新鮮な気持ちで、この春を迎えます。教職員、精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。